

八千代市版

地震が起きても困らない

医療ケアが必要な

子どもと家族の

暮らし方のヒント！

—東日本大震災を体験した先輩から学ぶ—

チームやちよキッズ

2016年2月初版

## もくじ

チームやちよキッズからのメッセージ-----	2
① 東日本大震災を体験した先輩から学ぶ！-----	3
② 先輩から学ぶ！災害への備え-----	5
③ たん吸引を行っている子の備え-----	7
④ 酸素療法を行っている子の備え-----	8
⑤ 人工呼吸器を使用している子の備え-----	9
⑥ 資料：停電時の電源確保について-----	11
⑦ 資料：医療機器別災害時備蓄品チェックシート-----	12
⑧ 資料：災害時の連絡先と避難経路-----	13
⑨ 付録：ヘルプカード-----	14

※このパンフレットは、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成を受けて作成しております。

## チームやちよキッズからのメッセージ

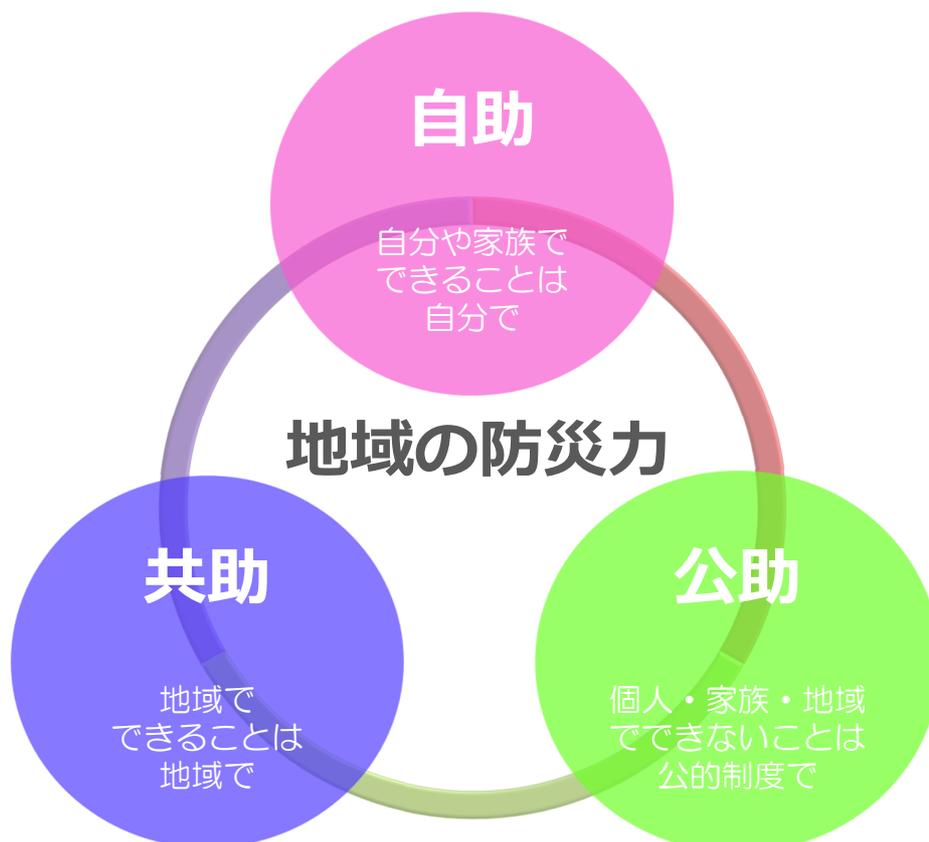
チームやちよキッズは、日常生活の中で医療ケアが必要な障がいを持つ子供達が、自宅での生活をより良く過ごせるように活動している多職種のサポーターです。

近い将来、関東地方にも大地震がやってくることが予想されています。2011年の東日本大震災では、一人で避難できない障がい者が津波から逃げおくれ、多くの被害を出したことが報道されました。このことを教訓に、日頃から災害に対する備えを常に心がけておく必要があります。

八千代市は内陸に位置するため、東北のように津波での被害は想定されませんが、家屋全壊や長期の停電などに備え、「とどまるべきなのか？」「逃げるべきなのか？」「どこに逃げるのか？」「どうやって逃げるのか？」「何を持参すべきなのか？」など、日頃から考え準備すべきことは数多くあります。

また、災害時に備え「自助」・「共助」・「公助」の防災対策が必要です。これは、国・都道府県・市町村・町内会・企業・家族・個人が、それぞれのパートで積極的に防災に取り組み、地域の力を育むことに繋がります。

チームやちよキッズでは、地震発生時の非常事態を想定して、まず、自分たちが自分たちを守る事を考えるために、「自助」を中心に、今回パンフレットを作成しました。このパンフレットを参考に災害時の備えを始めましょう。また、巻末のヘルプカードやチェックシートを是非活用してください。



## ① 東日本大震災を体験した先輩から学ぶ！

### ～震災を体験した小児科医の先生のお話～

震災での犠牲者の割合は、障害者手帳を有する方では一般の2倍にのぼりました。災害時に小児在宅患者さんを守るためには、①自力では避難できない要援護者の避難をどのように支援するか、②避難したのち生命に直結する医療機器の電源や薬剤をどのように確保し供給できるか、そして、安全に過ごせる場所を確保できるか、③平時からの防災対策をどのように普及させるかの3点が重要です。

#### ポイント ▶ 災害から逃げましょう-----5 ページ

厚生労働省は、2005年に「災害時要援護者避難支援計画」を策定するように各市町村に求めました。

#### ポイント ▶ 安全に過ごせる場所を確保しましょう-----5 ページ

避難所には、自治体によって指定される公立の小中学校などの「指定避難所」と、高齢者や障がい者、妊婦ら災害時に援護が必要な人たち(要援護者)に配慮した「福祉避難所」などがあります。福祉避難所は、阪神淡路大震災後にその必要性が認識され、2007年の能登半島地震や新潟県中越沖地震から実質的に運営されるようになりました。2012年9月現在で、56.3%の市町村で指定されています。

#### ポイント ▶ 普段から防災対策に取り組みましょう-----6 ページ

東北を中心に、広範囲に長期にわたって停電が続きました。人工呼吸器や吸引などの電源をいかに確保するか、ライフラインの確保は普段から取り組める防災としても重要な課題です。また、子どもたちのよく服用している散剤やシロップは、処方箋の控えがないと決められた投与量が分かりにくい特性があります。個人の医療情報を身につけておくことは自らを守る手段の一つといえます。診断名、かかりつけ医療機関、処方内容、緊急時対応を記載した名刺大のヘルプカードを作成して携帯しましょう。

田中総一郎先生（東北大学）

2015年10月12日に八千代市で行われた特別講演会でお話して頂いた内容です！(写真中央 田中先生・新田さん)



## ～震災を体験したお母さんのお話～

娘は現在、石巻支援学校の高等部2年生で重度の重複障害により、気管切開からの痰吸引と胃瘻からの栄養注入をしております。日常的に医療ケアが欠かせない状態で、生活すべてに介助の手が必要です。

東日本大震災では自宅は津波により大きな被害を受け、避難生活を余儀なくされました。避難時は充電式吸引器、足踏式吸引器、吸引用物品、胃瘻用物品、薬、栄養剤、紙オムツ、着替え、毛布、長座布団、車椅子などを持ち車で避難しました。薬は約一週間分、その他は2、3日分でしたので、学校のお友達から医療物品、栄養剤、水、紙オムツなどを分けていただきました。震災から一週間後、拓桃医療療育センターの田中先生から連絡をいただき、薬、栄養剤、紙オムツの手配をしていただきました。それをアライブの武山さんが避難先まで届けて下さいました。薬が届くまでのつなぎで役に立ったのが、支援学校に緊急時用として置いていた薬でした。ギリギリのところでも1日も欠かすことなく薬や栄養剤は確保できました。

この経験から、緊急時用の薬や栄養剤、医療物品など普通には手に入らない物は自宅以外の場所にも準備しておくと安心だと思えます。その他、自助については普段から避難方法やルート、場所の確認もしておくといいと思えます。共助については、なるべく人との繋がりを作ることが大事だと思います。震災前、町内の民生委員に災害時要援護者の登録を進められ、登録はしていました。しかし、地域によっては登録だけになり、実際に役立つ支援には繋がっていませんでした。震災後、地域へ戻り生活する際に、1番の不安は避難のことでしたので、要援護者の防災を考える会を立ち上げました。そして、避難訓練や防災イベントを開催したり、要援護者の防災についてのワークショップを開催し、地域への理解を広める活動をしてきました。

そして現在、町内会が中心となり市が作成する津波避難計画作りの話し合いが行われており、要援護者の避難についても重要視されています。地域全体で考えることも大事ですが、まずは隣近所に知ってもらうところから始めてみるといいと思えます。公助の部分では、避難所のバリアフリー化や福祉避難所の設置を求める話し合いを行政と重ねてきました。また、地域に高い建物がないため、要援護者でもスムーズに避難できるよう、スロープ付き避難施設の設置を要望しました。

今回の震災を通して、自助、共助、公助のバランスが取れることで、誰もが安心して暮らせる街になると思いました。

新田理恵さん（震災経験者）

## ② 先輩から学ぶ！災害への備え

### ポイント

#### 災害から逃げましょう

##### □ 連絡先・避難先を確認する-----

- ・ 災害時の連絡方法を担当の医師や看護師と相談しておきましょう。
- ・ 連絡先と避難経路を見やすいところに貼っておきましょう。

##### □ 搬送の方法を練習する-----

- ・ あわてないために搬送の方法を練習しておきましょう。
- ・ 災害時に避難の手助けをしてもらえるように、民生委員や近所の方にあらかじめ連絡しておきましょう。
- ・ 地域の防災訓練に参加し、災害時の対応の練習や近所の方との関係づくりをしておきましょう。
- ・ なるべく市町村や保健所など公的機関に情報を提供しておきましょう。

#### 災害時要援護者支援

要援護者とは、高齢者・障がい者など災害が発生したときに、自力や家族の支援だけでは避難することができない方で、地域による支援を希望する方のことです。支援を希望する高齢者・障がい者が申告書に記入し市役所の窓口へ提出します。市は名簿を整理し、各地区へ情報を伝え、地域の民生委員さんなどが個別に訪問をして、誰と誰が災害時に避難支援を行うか個別計画を立てます。

### ポイント

#### 安全に過ごせる場所を確保しましょう

##### □ 情報・通信手段を確保する-----

- ・ 災害時にすぐに避難する方が良いのか、すぐにはしない方が良いのかを判断するためにラジオ、携帯電話、パソコンなどを準備しておきましょう。
- ・ 携帯電話やパソコン・携帯電話のメールは、一般的に固定電話より早く通じます。
- ・ 携帯電話のインターネットは、一般的にパソコンより早く使用できます。
- ・ NTT、ソフトバンク、au など通信会社が、安否確認用のサービスを提供しています。
- ・ 災害時には、停電で携帯電話が充電できないことがあります。電気がない時の充電方法として、乾電池式充電器、手回し式充電器、ソーラー式充電器、シガーソケット式充電器などがあります。

### 避難所

自治体により指定された公立小中学校などの「指定避難所」があります。震災時、自宅での生活が可能な場合、数日間自宅待機される方がほとんどかと思えます。しかし、避難所は食糧・水の配給や情報発信の基地となりますので、お近くの「指定避難所」を確認しましょう。また、高齢者や障がい者が優先的に利用できる「福祉避難所」の開設状況なども「指定避難所」で公表されます。

### 災害医療地区病院

災害時、八千代市医師会を中心に実施される応急医療救護活動の初動体制の充実・強化を図るため、医薬品などが市内7箇所の救護所（災害医療地区病院）に配備されます。ケガをした場合は、災害医療地区病院で治療を受けることができます。詳しくは、八千代市医師会へお問い合わせください。

### コメント

避難が必要な場合には、むやみに移動するのではなく、周辺地域の状況や避難場所までの安全の確認が重要です。八千代市からの災害情報を入手しましょう。

- ・ 防災無線・広報車
- ・ 自動応答電話サービス（防災無線の放送内容が確認できます。通話料無料。）  
0120-970-911
- ・ やちよ情報メール  
<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/121500/page100004.html>
- ・ 八千代市防災ブログ  
[http://blogs.yahoo.co.jp/yachiyo\\_bousai](http://blogs.yahoo.co.jp/yachiyo_bousai)
- ・ 八千代市 Twitter  
[https://mobile.twitter.com/yachiyo\\_shi](https://mobile.twitter.com/yachiyo_shi)

### ポイント

#### 普段から防災対策に取り組みましょう

- **お薬手帳を準備する**-----
  - ・ ①お薬名、②病名、③アレルギーをお薬手帳に書いて準備しておきましょう。
  - ・ 携帯電話にお薬や処方箋の写真を保存しておきましょう。お薬は3日から1週間程度予備をもっておきましょう。
- **医療機器の電源を確保する**-----
  - ・ 停電に備えて吸引や人工呼吸器などの電源を確保しておきましょう。  
※詳しくは、③たん吸引を行っている子の備え **7ページ**、⑤人工呼吸器を使用している子の備え **9-10ページ**をご覧ください。

### ③ たん吸引を行っている子の備え

- **内部バッテリーが内蔵されているか確認し、常に充電する**-----
  - ・ 吸引器に内蔵バッテリーがあるかを確認しましょう。バッテリー内蔵型吸引器は「通常」モードで約 50 分、「節約」モードで約 80 分の連続運転が可能です。
  - ・ 内蔵バッテリーがない場合、外部電源を準備することを検討しましょう。
- **手動で吸引できるように練習する**-----
  - ・ 手動式吸引器、足踏式吸引器のほか、電気を使わないいろいろな吸引の方法があります。担当の医師や看護師と相談しておきましょう。
- **吸引器の転倒防止をする**-----
  - ・ 吸引器や吸引器を乗せている台はベルト、ワイヤーなどで固定しておきましょう。
- **懐中電灯をそばに常備する**-----
  - ・ 停電中でも作業できるように、そばに懐中電灯を備えておきましょう。



## 電気を使わない吸引器

普段の吸引器の使い方に合わせて選びます。適正な吸引圧は、口腔内25-30kPa、気管内10-20kPaです。



**ブルークロス製 HA-210**  
最大吸引圧 210mmHg (28kPa)  
定価 3,600円  
**利点** 安価、携帯性に優れる  
手持ちの吸引カテーテルを接続して使用できる



**新鋭工業製 KFS-400**  
最大吸引圧 400mmHg (60kPa)  
定価 13,800円  
**利点** 足踏式の中では安価、  
**特徴** 足のうら全体をつけて動作するので体が不安定にならない  
**欠点** 和室のお布団では踏みにくい(足踏式全般に言えます)

シリンジ+吸引カテーテルもぜひ、覚えておいてください



**吸引のごつ**  
たんのあるところまでカテーテルをすすめてから、シリンジを引きます



**新鋭工業製 NK-1411**  
**スマイルバッグ**  
最大吸引圧 190mmHg (25kPa)  
定価 3,000円  
**利点** 安価、携帯性に優れる  
**欠点** 付属チューブが固定ではずれない



**ブルークロス製 FP-300**  
最大吸引圧 300mmHg (40kPa)  
定価 20,000円  
**特徴** 足のうらの親指の付け根あたりで踏む  
**欠点** 操作時に体が不安定になる



**AMBUCO製レスキューポンプ**  
最大吸引圧 450mmHg (60kPa)  
定価 23,000円  
**利点** 成人の蘇生用(誤嚥・窒息時)、高圧  
**欠点** 付属チューブ(18Fr・39Fr)のみ接続可



**AMBUCO製足踏吸引器**  
**ツインポンプ**  
最大吸引圧 600mmHg (80kPa)  
定価 58,000円  
**利点** 高圧、容量を越えても吸引できる  
**欠点** 高価

1kPa=7.5mmHg

### コメント

停電になると、ネブライザーや加湿器、カフアシストなども使用できなくなります。人工呼吸器では、加温加湿器も使用できなくなります。そのため、痰の性状が変わり吸引しづらくなる可能性があります。その子の状況に合わせて、電源の確保、吸引の方法や対処の方法について検討しておきましょう。

## ④ 酸素療法を行っている子の備え

- **酸素濃縮器に内部バッテリーが内蔵されているか確認し、常に充電する**-----
  - ・ 酸素濃縮器に内部バッテリーがあるかを確認しましょう。バッテリーが内蔵されていれば、1～2時間作動しますのでその間に酸素ポンベに切り替えます。
  - ・ 内部バッテリーがない場合、停電すると酸素濃縮器は停止しますので、すみやかに携帯用酸素ポンベに切り替えます。
- **携帯用酸素ポンベを確認し、携帯用酸素ポンベに切り替える練習をする**-----
  - ・ 携帯用酸素ポンベがあるか、こわれてないか、作動するか、確かめておきましょう。
  - ・ 携帯用酸素ポンベの対応時間を把握しておきましょう。
  - ・ 携帯用酸素ポンベに「呼吸同調器」がついているかを確認しましょう。呼吸同調器を使用すると、息を吸う時にだけ酸素を使いますので、約3倍長持ちします。
  - ・ 携帯用酸素ポンベ、ポンベカート、予備のカニューレ、延長チューブはすぐ持ち出せるように一緒に玄関近くに置いておきましょう。
- **ポンベなどの転倒防止をする**-----
  - ・ 酸素濃縮器、携帯用酸素ポンベは、ストッパーやひもなどで固定しておきましょう。
- **懐中電灯を酸素濃縮器や携帯用酸素ポンベのそばに常備する**-----
  - ・ 停電中でも、酸素濃縮器から携帯用酸素ポンベに素早く切り替えられるようにそばに懐中電灯を準備しておきましょう。
- **外部電源を検討する**-----
  - ・ 外部電源を使用することを検討する場合には、資料 **11 ページ** をみてください。
  - ・ 酸素療法だけであれば、携帯用酸素ポンベで対応している間に酸素の提供が可能な施設に移動することが一般的なので、外部電源は通常必要ありません。
- **呼吸法の練習をする**-----
  - ・ 消費する酸素を少なくし、酸素を効率的に取り入れるための口すぼめ呼吸（口をすぼめてゆっくり息を吐く）や腹式呼吸を練習しておきましょう。
- **酸素取り扱い業者と緊急時の対応を相談する**-----
  - ・ 酸素取り扱い業者の帝人では、震度5以上を超える地震の場合に利用者の安否を確認するシステム：D-MAP（Disaster Mapping Assistant Partner）を持っていますので、緊急時の対応を相談しておきましょう。

## ⑤ 人工呼吸器を使用している子の備え

- **災害時の避難や受診についての準備をする**
  - ・ 停電が長引く場合、一時的に入院する病院を見つけておくことが重要です。どの医療機関へ入院するか、どのように搬送するかなど、担当の医師や看護師と相談しておきましょう。
  - ・ 普段受診していない医療機関にかかる可能性も高いため、症状や、人工呼吸器の設定を伝えられるようにしておきましょう。
- **災害時要援護者の登録、電力会社への登録する**
  - ・ 人工呼吸器が停止した場合、移動には数人の支援者が必要となります。家族のみでなく、近隣自治会、地域自主防災会などに人工呼吸器をつけて生活していることを知ってもらい、災害時の救助に協力してもらえるように声をかけておきましょう。
  - ・ 生命維持のために、日常的に電気が必要であることを電力会社に伝えましょう。
- **人工呼吸器の転倒防止対策をする**
  - ・ 人工呼吸器や人工呼吸器を乗せている台はベルト、ワイヤーなどで固定しておきましょう。
  - ・ 地震の揺れでアンビューバックがどこかに飛んでしまわないように、ひもをつけて人工呼吸器やベッドの近くに結んでおきましょう。
- **操作の練習をする**
  - ・ 外部バッテリーや、アンビューバックの使い方を練習しておきましょう。同居の方だけでなく、支援してくれる近所の方、友人とも一緒に練習しておきましょう。
- **内部バッテリーの作動時間を確認し、常に充電する**
  - ・ 内部バッテリーは、買ってから時間が経つと持続時間が減少します。そのため、外部電源の確保は重要です。

### 内部バッテリーの持続時間

新品時は 12 時間の充電で人工呼吸器を 5 時間駆動できるバッテリーも、5 年間使用すると、同じ充電時間で 2~3 時間しか駆動できなくなってしまうことがあります。たとえ、充電時間を延長しても、駆動時間は延びません。

- **複数の外部電源を確保する**
  - ・ 停電時間が長時間におよぶ、準備していた電源がうまく作動しない、内部電源が消耗してしまうといった可能性があります。複数の外部電源を組み合わせる準備しておきましょう。自宅にある医療機器のおおよその消費電力は、人工呼吸器 200W、酸素濃縮器 150W、加温加湿器 400W、合わせると 750W です。



## ⑥ 資料：停電時の電源確保について



# 自家発電機

### 選択のポイント

- ① 使用する電気機器の容量によって機種を選択します  
 医療機器：人工呼吸器 200W、酸素濃縮器 150W、加温加湿器 400W 合わせると 750W  
 家電機器：冷蔵庫 400～1,600W、冷暖房 400～1,600W、テレビ 100W
- ② インバーター機能付きを選びましょう  
 安定した出力が得られます

車載用インバーター  
シガーライターソケットからAC100Vへ変換



- 呼吸器回路用の人工鼻使用で、加温加湿器分の節約
- 酸素ボンベで酸素濃縮器分の節約

ご家庭向け

診療所向け



カセットボンベは  
一日分(24本)を  
準備しましょう



EU9i-GB	EU9i	EU16i	EU26i	EU55is
900W	900W	1600W	2600W	5500W
104,790円	134,400円	207,900円	312,900円	488,250円
19.5Kg	13Kg	20.7Kg	35.2Kg	101.7Kg
カセットボンベ 2本で2時間	ガソリン2.1ℓ	3.6ℓ	5.9ℓ	13.8ℓ
必要最低限の照明	ほとんどの 電気製品	一般家庭の 総電力	小型事務所の 総電力	



ガソリンは揮発性の液体なので保管は  
必ず携行缶で行います  
通気性のよい屋外の物置などへ置いてください  
最低でも3か月に一回は入れ替えましょう  
給油は一旦発電機を止めて行ってください



発電機の使用は必ず屋外で  
屋内に電気を引き込むためのドラム型延長ケーブルを  
一緒に準備しましょう



ボンベ型・ガソリン型ともに  
エンジンオイルの劣化が早いので交換が必要です  
初回は1ヶ月目若しくは20時間運転目  
以降は50時間～100時間  
1年以上使用しない場合でもエンジンオイルの  
交換は必要です

### 自家用車から

シガーライターケーブル インバーター(DC/AC 変換機)



どこへしまいかんだか、  
わすれやすいのでご用心!



こちらは1万円程度

### 自宅に

UPS(無停電電源)



ホームセンターなどで、  
1～2万円程度で  
購入できます。

## コメント

非常用バッテリーとして、自家発電機などがあります。ガソリンを燃料とする自家発電機は家庭用から容量の大きいものまで選択できますが、揮発性であるガソリンの保管など手がかかります。一方、卓上コンロ用のカセットボンベを用いる自家発電機は、ボンベ2本の駆動時間は2時間ほどと短いですがメンテナンスは楽で一般家庭向きといえます。

## ⑦ 資料：医療機器別災害時備蓄品チェックシート

災害時に備えて3日～1週間分は準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。色枠は医療機器に応じた必要物品となっています。

予備電源があれば点を、バッテリーの時間がわかればその時間を記入しましょう

《記入例》

医療機器	人工呼吸器		酸素療法		吸引器		吸入器		経管栄養剤		持続点滴	
	チェック欄	数量	チェック欄	数量	チェック欄	数量	チェック欄	数量	チェック欄	数量	チェック欄	数量
必要物品												
バッテリー (内部・外部)	レ	時間分		時間分	レ	時間分		時間分			レ	時間分

その他の使用機器の記入欄

医療機器	人工呼吸器		酸素療法		吸引器		吸入器		経管栄養剤		持続点滴					
	チェック欄	数量	チェック欄	数量	チェック欄	数量	チェック欄	数量	チェック欄	数量	チェック欄	数量	チェック欄	数量	チェック欄	数量
アンビューバック		1個														
バッテリー (内部・外部)		時間分		時間分		時間分		時間分				時間分				
酸素ボンベ/キャリー		L		L												
血中酸素モニター		台		台												
手動式吸引器		台				台										
予備人工呼吸器回路		セット														
人工鼻		個														
吸引チューブ (1週間分)		本				本										
カニューレ (1週間分)																
経管栄養剤 (1週間分)										缶						
衛生物品 1週間分	アルコール綿															
	ガーゼ															
	消毒薬															
	50cc注射器															
	滅菌グローブ															
	蒸留水															
	オムツ															
ネブライザー液 (1週間分)							ml									
その他																



## ⑨ 付録：ヘルプカード

ヘルプカードとは、緊急時や災害時などの困ったときに、障がいのある人たちが必要な支援や配慮を周囲の人に伝えるためのカードです。ヘルプカードには、緊急時の連絡先や配慮してほしいことなどを記載しておきます。身につけておくことで、いざというときに必要な支援を受けるのに役立ててください。

※身につけて持ち歩けるよう、お財布の中やリュック、バギーにさげて使用してください。

【見本】

(表)

<h1>ヘルプカード</h1> <p>あなたの支援が必要です。</p> <p>このカード所持者が、体調をくずしていたりケガをしている時は お手数でも119番および緊急連絡先にご連絡ください。 また、災害時には避難支援をお願いします。</p>	<p><b>投与薬の種類</b></p> <p>てんかん薬 ○○細粒 100mg</p> <p>ぜんそく薬 ○○錠 200mg</p> <p>睡眠薬 ○○剤 1錠</p> <hr/> <p><b>緊急時の対処方法</b></p> <p>てんかん発作の特徴は、意識がなくなり身体が硬くなります。 発作の場合は、身体を横にさせて時間を計り、5分以上発作が続いたら 救急車を呼んで医療機関に運んでください。</p>
--	--

(裏)

<p>記入日： 年 月 日</p> <p>氏名： 八千代 太郎 男 血液型： ○ 型 RH( + )</p> <p>生年月日： 明治 大正 昭和 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日</p> <p>住所： 八千代市堂田〇丁目〇番地</p> <hr/> <p><b>緊急連絡先</b></p> <p>氏名： 八千代 花子 本人との 電話番号： 047-〇〇〇-〇〇〇〇 関係： 母</p>	<p><b>診断名</b></p> <p>てんかん、ぜんそく、〇〇</p> <hr/> <p><b>アレルギーの種類</b></p> <p>特になし</p> <hr/> <p><b>かかりつけ医療機関</b></p> <p>病院名： ○○病院 主治医： ○○先生 電話番号： 047-〇〇〇-〇〇〇〇</p>
---	--

※カードの外枠の線に沿って切り取ってお使いください。

✂

<h1>ヘルプカード</h1> <p>あなたの支援が必要です。</p> <p>このカード所持者が、体調をくずしていたりケガをしている時は お手数でも119番および緊急連絡先にご連絡ください。 また、災害時には避難支援をお願いします。</p>	<p><b>投与薬の種類</b></p> <hr/> <p><b>緊急時の対処方法</b></p> <hr/>
--	---

記入日： 年 月 日

氏名： 男 女 血液型： がた 型 RH ( )

生年月日： 明治 大正 昭和 平成 年 月 日

住所：

緊急連絡先

氏名： ほんにん 本人との

電話番号： かんけい 関係：

診断名

アレルギーの種類

かかりつけ医療機関

病院名： しゅがい 主治医：

電話番号：

## ◆ 参考資料一覧

- ✓ 習志野保健福祉センター（習志野保健所）：災害に備えて！. 2013
- ✓ 人工呼吸器をつけた子の親の会 くばくばの会：バクバクっ子的ための防災ハンドブック. 2010
- ✓ 「がん緩和・在宅医療における東日本大震災の経験を生かした東南地震への備え」に関する研究ワーキングチーム：大規模災害に対する備え がん治療・在宅医療・緩和ケアを受けている患者さんご家族へ ー普段から出来ることと災害時の対応ー 試作（プロトタイプ）版. 2014  
[http://ganjoho.jp/data/public/support/brochure/saigai\\_booklet.pdf](http://ganjoho.jp/data/public/support/brochure/saigai_booklet.pdf)
- ✓ 田中総一郎，菅井裕行，武山裕一：重症児者の防災ハンドブック 3.11 を生きぬいた重い障がいのある子どもたち. 株式会社クリエイツかもがわ 2012
- ✓ 八千代市ホームページ：<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/kurashi/category00000258.html>

## ◆ チームやちよキッズコアメンバー

リーダー：山口 朋奈	なないろこどもクリニック
メンバー（五十音順）：	
井尻 弓子	まちのナースステーション八千代
神原 智子	さわやか訪問看護ステーション
小林 朗子	千葉県習志野健康福祉センター
高荷 奈美子	大和田訪問看護ステーション
田中 亜季	東京女子医科大学八千代医療センター
田中 秀幸	八千代市役所障害者支援課
濱崎 志乃	東京女子医科大学八千代医療センター
平山 裕子	さわやか訪問看護ステーション
福田 光宏	まちのナースステーション八千代
福田 裕子	まちのナースステーション八千代
森口 小津恵	東京女子医科大学八千代医療センター

## ◆ 資料を提供いただいた皆さま

田中 総一郎	東北大学大学院准教授
武山 裕一	株式会社アライブ代表
新田 理恵	石巻・家族会「たんぼぼ会」会長

## ◆ パンフレットの改訂

パンフレットの改訂は、チームやちよキッズのホームページ上で行う予定です。

チームやちよキッズホームページ：[www.team-yachiyo-kids.org](http://www.team-yachiyo-kids.org)

The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions. It emphasizes that every entry, no matter how small, should be recorded to ensure the integrity of the financial data. This includes not only sales and purchases but also expenses, income, and any other financial activities. The document also highlights the need for regular reconciliation to identify any discrepancies between the recorded amounts and the actual bank statements or receipts.

Furthermore, it stresses the importance of using clear and concise language when describing each transaction. This helps in avoiding any ambiguity and ensures that the records are easy to understand and audit. The document also provides guidelines on how to handle corrections and adjustments, ensuring that they are properly documented and explained.

In addition, the document discusses the role of technology in financial record-keeping. It mentions the use of accounting software and spreadsheets to streamline the process and reduce the risk of human error. However, it also cautions against relying solely on technology and emphasizes the need for manual verification and oversight.

Overall, the document provides a comprehensive overview of the best practices for maintaining accurate and reliable financial records. It covers the entire process from recording transactions to regular reconciliation and the use of technology to enhance efficiency and accuracy.